

第44回埼玉県医学検査学会 市民公開シンポジウム

がんと 言われた日に ～がんサバイバーシップの始まり～

講演1 メンタルケアの立場から

「がんを受け入れ、がんと向かい合う」

丸倉直美 先生(埼玉県立がんセンター リエゾンナース)

講演2 ソーシャルケアの立場から

「昨日の備えを明日に活かす」

～患者さんの仕事や家計を支えること～

賢見卓也 先生(NPO法人がんと暮らしを考える会 理事長)

講演3 メディカルケアの立場から

「医療はサポーター ～正しい医療を選ぶこと～」

勝俣範之 先生(日本医科大学武蔵小杉病院 教授)

大宮ソニックシティ
小ホール

2015.
12.6 SUN
13:00-14:50

私たち臨床検査技師は、今回「がんを識(し)る」をテーマに学会を行います。
その中で市民公開シンポジウムとして患者さんの立場でがんと向かい合う内容を企画しました。
もしあなたが突然「がんですね」と言われたらどうしますか？

■どなたでも参加いただけますが満席の場合は、立ち見になる場合もございます。

主催:  公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

<http://www.sairingi.com/>

後援: 埼玉県 さいたま市 埼玉県医師会 埼玉県看護協会 埼玉県病院薬剤師会 埼玉県診療放射線技師会
埼玉新聞社 テレ玉 じほう FM NACK 5

第44回埼玉県医学検査学会

学会長 岩田敏弘(埼玉県立がんセンター)

実行委員長 吉岡浩明(埼玉県立循環器・呼吸器病センター)

●問合せ先 埼玉県立がんセンター

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室780

電話 048-722-1111(代表)

入場無料

予約不要

